私の卒論プラン

手がかり文献

松田美佐『うわさとは何か—ネットで変容する「最も古いメディア」』中公新書 2014年

きっかけ

新型コロナウイルスが今年に入ってから世界経済を大きく変化させた。そして私たちの生活にもマスクやトイレットペーパーなどが不足する影響が出てしまった。しかしこのトイレットペーパーはデマと分かっても、日用品を含めて買いためする人はまだいる。今までにない状況の中で、情報に惑わされる人々の原因と経済への影響を確かめてみたいと思った。

要旨

はじめに

第1章 うわさの影響力

1. 社会現象化した三つのうわさ
2. 定義—デマ、流言、ゴシップ、風評、都市伝説との関係
3. 社会不安はどのように起こるか

第2章 うわさを考える—「古典」を繙く

1. 情報の崩壊と生成
2. 報道・世論との関係—言論統制下の「うわさ」
3. 「古典」の限界—関係性とメディア論の不在

第3章 都市伝説の一世風靡—1980～90年代

1. 現代社会に生まれる「物語」
2. 都市伝説から学校の怪談へ
3. デイテールの変化、モチーフの維持

第4章 人と人をつなぐうわさ・おしゃべり

1. うわさが作る関係性
2. 社交としての役割—効用、そして孤立回避
3. 都市伝説によるリアリティの共有

第5章 メディアとの関係—ネットとケータイの普及のなかで

1. メディアとの不可分性
2. インターネットというメディア
3. 電話・ケータイによる人間関係の変容

第6章 ネット社会のうわさ—2010年代の光景

1. メールが変えた“かたち”
2. ネットによる拡散—増殖、記録性、そしてSNS
3. うわさとつきあい続けるために

おわりに 一人をつなぐ「物語」としてのうわさ

調べたいことや解明したい点

- ・風評被害の実態
- ・災害時の風評被害から学ぶこと
- ・どのようにデマは生まれるのか
- ・情報拡散の過程
- ・災害時にデマが広まりやすいのはなぜか
- ・SNSの普及による情報伝達の変化
- ・情報の正確性
- ・企業と風評被害
- ・有効な情報手段は何か
- ・私たちは情報にどう対応すべきか、能力が必要か

卒論題名（仮）

情報が与える人と経済への影響

（真偽のはっきりしない情報にあったとき人はどう行動するのか）

参考文献一覧

1. 萩上チキ『検証 東日本大震災の流言・デマ』光文社新書 2011年
2. 関谷直也『風評被害 そのメカニズムを考える』光文社新書 2011年
3. 佐藤卓己『流言のメディア史』岩波新書 2019年
4. 関谷直也『「災害」の社会心理』ワニ文庫 2011年
5. 岩田健太郎『「感染症パニック」を防げ！ リスク・コミュニケーション入門』光文社新書 2014年
6. 徳田 雄洋『震災と情報—あのとき何が伝わったか』岩波新書 2011年
7. 藪崎真哉『ネット風評被害』ディスカヴァー携書 2015年
8. 「豊川信用金庫事件」フリー百科事典ウィキペディア